



社会福祉法人  
ロザリオの聖母会  
千葉県旭市野中4017  
Tel (0479) 60-0600  
ホームページアドレス  
<http://www.rosario.jp>  
Eメールアドレス  
honbu@rosario.jp

## 社会福祉法人ロザリオの聖母会 平成23年度事業・決算報告書

### I 事業の概要

#### 1. 概括

##### 1-1 福祉・医療情勢

内閣府の下、新法（仮称：障がい者総合福祉法）の策定作業を進めていた「障害者制度改革推進会議総合福祉部会」（部会長・佐藤久夫日本社会事業大学教授）が平成23年8月30日付で、国連の障害者権利条約と、障害者自立支援法違憲訴訟原告団と国との基本合意文書を土台にした骨格提言をまとめた。

一方、現実的には厚労省策定の「障害者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律」（通称：つなぎ法→現在は「22年整備法」と言い換えられている）により、23年10月から「グループホーム・ケアホーム利用の際の助成」「同行援護事業」が施行され、ロザリオ訪問介護事業所が10月1日付で同行援護事業の指定を受けた。

また、24年4月施行の「利用者負担の見直し」「相談支援体制の充実」「障害児支援の強化」「事業者の業務管理体制の整備」に関する通知が6月以降徐々に発出されてはいたものの詳細が明らかになったのは2月末のことであり、施設・事業所（聖母療育園、聖母通園センター、ふたば保育園、つどいの家の各児童福祉施設と一部の相談系事業所）としての方向性が最終的に定まったのは3月中旬のことだった。

この間、社会保障と税の一体改革論に象徴される給付水準と財源との相関関係化に世論が導かれつつある中、先の新法（障がい者総合福祉法）制定に暗雲が漂い、厚労省策定による通称：つなぎ

法を一部改正した代替案「障害者総合支援法」が25年4月に施行される方向が現実味を帯びてきている（平成24年4月18日衆議院厚生労働委員会で可決）。

その他の福祉関連法制度の動向としては、障害者虐待防止法が議員立法により平成23年6月17日に参議院本会議で可決成立し、平成24年10月1日付で施行されることになった。この法律では施設設置者に当該施設等における虐待防止のための措置を講じる責務が生じ、市町村には「市町村障害者虐待防止センター」を設置して虐待対応の窓口となることが求められることになった。

事業者として最も注目するところの24年度障害福祉サービス費報酬改定では、「経営実態を踏まえた効率化・重点化を進めつつ、障害者の地域移行や地域生活支援を推進する方向で対応する」との方針の下、福祉・介護職員処遇改善交付金を報酬に組み入れた上で+2.0%の改定（基本報酬部分は-0.8%）という厳しい内容となった。

医療分野では、急性期医療、在宅医療の充実等を重点項目に、医科で1.55%の診療報酬引き上げが行われるが、薬価改定のマイナスを合わせると0%の改定率という結果となった。また、海上療養所の運営に直接影響する精神科療養病棟入院料は微減となったが、長期入院患者の地域移行を促す社会的潮流の中、精神科病院海上療養所の将来をどう方向付けるかが大きな課題となっている。

介護分野での報酬改定も、「介護サービス提供の重点化と機能強化を図る観点から、各サービス間の効果的な配分を行い、施設から在宅介護への移行を図る」とした上で、障害福祉分野と同じく福祉・介護職員処遇改善交付金を組み入れても1.2%の改定と、こちらも厳しい内容となった。

## 1-2 ロザリオの聖母会

東日本大震災による物理的、精神的動揺が未だ静まり止まぬ中にスタートした23年度、4月当初は駐車場や通路、給排水等の臨時的復旧に努め、4月中旬には法人全体の災害復旧費国庫補助金協議書を千葉県障害福祉課に提出した。その後、県担当者の数回にわたる現地調査等を経て、対象施設には概ね費用の4分の3（対象によっては6分の5）が補助されることが確かになったので、浄化槽や建物傾斜の復旧工事を順次進行した。

その中で、利用者や家族、職員の憩いの場である「喫茶ひまわり」が8月末に復旧工事を完了、9月に業務を再開して10月には復興セレモニーを開催して再起を祝福した。

秋にかけては災害復旧費補助金内定の知らせが行政から届くようになり、入札や理事会審議に忙殺されながらも施設復興の道筋が具体的に見えるようになった。

年内には浄化槽の復旧が完了して施設運営に平常を取り戻すことができ、一部の施設・事業所を除いて概ね復興の姿を見ることができた。

このような災害復旧に追われる中、4月末に栄養状態改善のために入院した細渕理事長が1カ月に渡る闘病生活の甲斐無く5月末に帰天するという、本会にとってはもう一つの激震に見舞われる

ことになったが、葬儀の一週間後の6月8日に臨時理事会を開いて職務代理者であった桑島克子理事が新理事長に就任して事業を継承した。

事業運営面では、障害者自立支援法による新体系事業に次の3施設が4月1日付で移行した。

- 聖マリア園（施設入所支援事業と生活介護事業）
- ワークセンター（生活訓練事業と就労継続支援事業B型）
- みんなの家（就労移行支援事業と就労継続支援事業B型）

また、10月1日付で次の2施設が移行を完了した。

- 聖家族園（施設入所支援事業と生活介護事業）
- 佐原聖家族園（施設入所支援事業と生活介護事業）

また、つなぎ法が完全施行される24年4月、ロザリオの聖母会の中で新体系移行が未定だった児童福祉系施設（聖母療育園、聖母通園センター、ふたば保育園、佐原聖家族園つどいの家）が医療型障害児入所施設、療養介護や生活介護等それぞれ新しい事業を選択することになった。

海上療養所ではロザリオ精神科訪問診療室を新設して認知症訪問診療に取り組み、地域からの熱い期待に応えるとともに関係者への教育活動にも力を注いだ。また社会的注目度が高いため外部からの視察等も頻繁に行われ、7月には堂本元千葉県知事を始めとした障害者制度改革推進会議の事務局長や委員数人が当地を訪れるケースもあった。

故和田ハツ江理事長のクリスチャンネームをいただいた通所介護事業所デイサービスセンター・ローザの開設は、大震災の余波（大型給湯器の納入が5月に延期）を受けて、新施設での事業開始が6月にずれ込むという誤算があったが、その後は着実に事業を推進した。

もう一つの新規事業は、香取地区（多古町）に開設した香取就業センターで、香取圏域の障害者就労に取り組んだ結果、10月の時点で事業所に課せられた数値目標を8割方達成するとともに年度末には100%に達するなど地域での認知度が徐々に高まっている状況にある。

年度中途の8月、千葉県から委託を受けて「仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業」を開始した。この事業は仮設住宅入居者に対する相談、見守り、生活支援を主たる業務として月から金の週5日、本会から4人の職員を派遣、常駐させることによって被災者の生活再建を援助するものである。海匝ネットワーク、ロザリオ高齢者支援センター、海上療養所、友の家、ロザリオ発達支援センター、みんなの家、東総就業センター等の相談系職員（社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士、介護支援専門員等）21名が総力を挙げて業務に励んだ。

また、福島第一原発事故により千葉県鴨川市青年の家で避難生活を送る福島県の施設利用者のために、千葉県知的障害者福祉協会の要請を受けた本会知的障害系施設では職員を交代で数回に渡り現地に派遣して支援活動を行った。

香取市栗源の旧高萩小学校校舎を本会が無償譲渡を受け、現在佐原聖家族園で行っている日中一時支援事業とつどいの家をこの地に移して生活介護事業として実施するなどの「高萩福祉センター

計画」が香取市長の強い意向によって実現の方向に進み、24年1月末の地元説明会を経て、2月1日付で校舎の無償譲渡、土地の無償貸与に関する契約を香取市と締結して4月に所有権を移転することになった。

なお、大規模修繕工事に係る千葉県との協議も順調に進み、24年度事業として実施できる可能性が高まっている。

### 1-3 東日本大震災と復旧・復興への道のり

震災後1年有余を経た今、当時に比べてロザリオの聖母会の施設内外は従前の平静を取り戻している感がある。

ふり返れば平成23年3月11日、午後2時46分頃に発生した東北地方太平洋沖地震と大津波、原発事故は、物理的な衝撃の激しさに加えて精神的にも魂を揺さぶられるほどの激しさをもって私たちに襲いかかったため、だれもが「幸せとは何か」「文明とは何か」「人間や家族の絆とは何か」といった根本的な問いの前に立たされる結果をもたらした。

当時の混乱や不安・恐怖感は一般的には徐々に過去のものとなりつつあるものの、被災地や被災者の方々にとっては失った家族、知人への哀惜の念や目前の生活再建の課題など到底過去形では語れぬ状況が続いている。また、福島原発事故の傷跡は癒えないまま解決への端緒についたばかりで、これから気の遠くなるような復興への道のりが待ち受けている。

700人超の利用者、患者の方々に対して責任を持つロザリオの聖母会では、幸いにも津波被害を免れることができ、人的被害は皆無だったが、建物や設備に対する被害には甚大なものがあった。

中でも、液状化現象による建物傾斜・沈下、駐車場・私道の陥没、地中給排水管の損壊によるライフラインの停止等の被害が深刻で、とりわけ浄化槽損壊による排水機能停止の影響は大きく、建設現場用の仮設トイレを15台借用して凌ぐ状態が3月末日まで続いたことは、忘れることのできない体験であった。

このような状態からの復旧・復興への歩みは、いくつかの段階を経て進んだように思われるので、以下に概要を報告する。

第一段階は、震災直後から4月にかけてのライフラインと道路・駐車場の復旧であった。

当面は応急処置的工事に止まらざるを得なかったが、日に日に不完全ながらも何とか日常レベルへ回復する施設・事業所が増えていった。しかし、一部の施設では浄化槽そのものが破壊されて修復が困難なところがあった。

第二段階は、震災後一ヶ月ほど経過した4月中旬に、行政から補助金（社会福祉施設等災害復旧費補助金）適用の朗報が届いたことによる。

これにより施設の改修、復旧工事が国庫補助により可能なことが明らかになったため、浄化槽の新設も含めた大まかな復旧計画を立てることができた。ちなみに平成23年4月18日付提出の社会福祉施設災害復旧費補助金協議書に計上した法人費用総額は、対象施設・事業所分が1億7千万

円、対象外分も含めると2億6千5百万円という額に上った。

6月に入ると千葉県障害福祉課の担当の方が何度も当地を訪れて、つぶさに視察を行い、またわれわれの訴えに丁寧に耳を傾けてくださり、国との間にたって補助金申請へのアドバイスをいただくことができた。そのお陰で浄化槽等の復旧工事のほとんどに補助金が下りることになり、順次工事を進展することができた。

第三段階は、現実に建物や浄化槽が元の姿を取り戻した時期である。

8月末に水平復旧工事を完了した、利用者や職員の憩いの場である喫茶ひまわりは、被災後5カ月を経て法人内に初めて目に見える形で復元した建物としてシンボリック的存在になった。

この時期から各所に復興の光が見え始め、以降、聖家族園の外部トイレ、浄化槽、聖マリア園の浄化槽、聖母療育園では家族棟など付帯設備の復旧に加えて、浄化槽も年内には大方の工事を完了するに至った。加えて佐原聖家族園の室内修復工事も新年早々着工したので、一部のグループホームと解体、新築を検討しているふたば保育園を除いておおよそ年度内に復旧を果たすことができた。

このような道のりを着実に歩むことができたのは、先の千葉県障害福祉課、旭市、香取市などの行政機関のご支援や、たくさんのお見舞いをお寄せ下さった個人、企業、家族会、後援会、同業の社会福祉法人様等々、多くの方々のお力添えがあったればこそで、本報告をもって心からの感謝と御礼を申し上げたい。

加えて、建設・設備関係業者の方々が震災当日から各所の応急工事に駆けつけ、かつ一部の工事費を無償にするなどのご配慮をいただいたことを記録にとどめ、法人としての感謝と御礼を申し上げます。

なお、施設を最優先に置いた関係で遅れている法人付帯設備（職員寮その他）の解体、改修工事等は第四段階としての課題であり、24年度早々に着工して年内には完全復旧と言えるよう努力したい。

## 1-4 施設・事業所

### ①海上療養所

- OT室・倉庫完成と運用開始
- 訪問診療室開始と伸展
- 新暁の星病棟新築工事着工
- 長期入院患者の地域移行と入院患者減
- マリア病棟耐震診断と渡り廊下アスベスト撤去

### ②ワークセンター

- 4/1新体系事業移行（生活訓練と就労継続支援B型の多機能事業所）
- 災害復旧年度末まで推移
- 利用率の低迷

- 年度末（3月）に就労継続支援B型事業に一本化
- 第二作業棟増改築計画

### ③友の家

- 仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業に職員配属
- 地域生活支援事業I型参加者増加
- 海匝圏域障害者相談支援事業所連絡会立ち上げ
- 旭障害者支援センター、ロザリオ発達支援センターに事務所提供
- 地域サービス事業部構想

### ④聖母療育園

- 法制度改正により重症心身障害児者施設として最終年度
- 年度末に新事業選択（医療型障害児入所施設と療養介護事業）
- 年度当初に常勤医師1名就任
- 災害復旧工事やスプリンクラー設備工事等国庫補助事業実施
- 年4回「あいさつ週間」実施

### ⑤聖母通園センター

- 重症心身障害児者通園事業A型最終年度
- 年度末に新体系事業選択（生活介護、児童発達支援、放課後等デイサービスの多機能事業所）
- 新規登録8名
- 震災被害のふたば保育園に2階提供
- 共同募金会助成金による設備整備

### ⑥ふたば保育園

- 年度末に新体系事業選択（児童発達支援と放課後等デイサービス事業）
- 震災被害による園舎使用不能のため聖母通園センター2階を借用
- 夏休み等の利用希望増加のため法人内事業所間で調整
- 聖母療育園の応援による職員配置
- 計画練り直しのため災害復旧補助金申請取り下げ

### ⑦ロザリオ発達支援センター

- 幼稚園、保育所等への施設支援
- 市町村から乳幼児検診や心理相談の要請
- 小学校からの相談増加
- 仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業に職員配属
- 事務所年度内二度移転

### ⑧聖マリア園

- 4/1新体系事業移行（施設入所支援と生活介護事業）

- グループホーム矢指ハウスに利用者3名地域移行
- 災害復旧工事
- 居室個室化を目指して増築工事
- 新卒採用者確保活動

⑨聖家族園

- 10/1新体系事業移行（施設入所支援、生活介護事業）
- 浄化槽ほかの災害復旧工事
- スプリンクラー設備、自家発電装置国庫補助金により整備
- 誤嚥事故契機に言語聴覚士の指導受け入れ
- アメニティー向上のため男性浴室改修検討

⑩みんなの家

- 4/1新体系事業移行（就労移行支援、就労継続支援B型事業）
- 災害復旧工事（ひまわり9月に業務再開）
- 新施設長就任
- たんぼぼ旭市銀座通りから撤退と製パン班旭中央病院進出
- 仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業に職員配属

⑪東総就業センター

- 香取就業センター開設により登録者の振り分け
- 就労支援ネットワーク強化事業、障害者就労チャレンジ事業受託
- 企業支援員暫時欠員
- 法定雇用率未達成企業支援事業年度末で終了
- 仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業に職員配属

⑫聖家族作業所

- 浄化槽ほかの災害復旧工事
- 新館増築
- フラワーロード整備
- ロザリオ福祉まつりのために東日本大震災義援金募金箱作成
- 送迎車両人身事故

⑬グループホーム支援センター

- 多数のハウスが震災被害
- 災害復旧工事は二カ所が次年度繰り越し
- 立野ハウスは復旧見送りアパート借り上げ
- 矢指ハウス、小割ハウス、仲町ハウスの三カ所新設で計16カ所定員72名
- 近隣との関係（連携や摩擦）

- ⑭ロザリオ高齢者支援センター
  - 震災後地域活動に注力
  - ケアマネ3人体制定着で経営健全化
  - 医療と介護の連携
  - 制度改正への対応
  - 仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業に職員配属
  
- ⑮ロザリオ訪問介護事業所
  - 障害者ヘルパー体制強化
  - 10月同行援護開始
  - 医療と介護の連携
  - 経営的安定と運営強化を視野に職員採用
  - 節電努力
  
- ⑯デイサービスセンター・ローザ
  - 震災の影響で6/1実質的事業開始
  - 時間に縛られない日課を実践
  - 開設一年目で利用率低迷
  - 特殊浴槽が好評
  - 年度末に利用者急増
  
- ⑰海匠ネットワーク
  - 常勤コーディネーター3名堅持（要綱上は2名）
  - 仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業推進
  - 仮設委託料、補助金、助成金取得の自助努力により経営健全化
  - 千葉県が平成25年度以降の中核事業見直し示唆
  - 女性サポートセンターとの事業受託契約推進
  
- ⑱旭障害者支援センター
  - 年度内2度の事務所移転
  - 前任者との引き継ぎ困難
  - 相談内容はサービス調整最多で圧倒的に成人から
  - つなぎ法施行による指定取得
  - サービス利用計画3名作成
  
- ⑲佐原聖家族園
  - 10月新体系事業移行（施設入所支援、生活介護事業）
  - 震災より浴室に被害甚大
  - スプリンクラー設備工事、居室増改築工事国庫補助金により実施
  - 虐待に係る講演会施設内で実施



○高萩福祉センター協議書作成、提出

⑳つどいの家

- 年度末に新体系事業選択（生活介護、児童発達支援、放課後等デイサービスの多機能事業所）
- 災害復旧工事（屋根瓦）年度末に
- 新年度、支給決定が県から市に
- 第1回香取圏域ふれあい祭りに舞台出演
- 高萩福祉センターへ発展的移転検討

㉑ケアホーム香取・グループホーム香取

- はしがえハウス開設
- たまつくりハウス年度末をもってNPO法人に移管
- 移動支援事業活用して市内行事に参加
- 浴室環境整備
- 利用者がマイコプラズマ肺炎感染

㉒香取障害者支援センター

- つなぎ法施行による指定取得
- 基幹型相談支援センター、障害者虐待防止センター受託の働きかけ
- 香取市バリアフリーマップ作成
- 香取市自立支援協議会事務局担当
- グループホーム5年で地域に21カ所

㉓香取就業センター

- 開設一年目で地域での認知度高める努力
- 就職者数等の目標達成
- 地域の課題発見（訓練事業所不足、人口減少、企業減少）
- 就労支援ネットワーク強化事業、障害者就労チャレンジ事業受託
- 事務職員の欠員を本部がカバー

㉔本部

- 前理事長入院及び葬儀と新理事長就任
- 災害復旧計画の全体的推進
- 入札案件ほかの理事会運営
- ロザリオ福祉まつりにテーマ設定と事務局体制
- 障害者雇用

## 2. 法人概要

2-1 法人所在地 千葉県旭市野中4017

2-2 法人設立年月日 昭和27年5月29日

2-3 敷地面積 103,546.94㎡ (前年度103,546.94㎡)  
約31,322.9坪

2-4 建物面積 25,175.48㎡ (前年度23,986.58㎡)  
約7,615.6坪

2-5 施設・事業所数 23カ所 (前年度21カ所)

- (1) 入所系事業所 5カ所 (前年度5カ所)
- (2) 居住支援系事業所 2カ所 (ホーム数21カ所、前年度18カ所)
- (3) 通所・日中活動系事業所 7カ所 (前年度7カ所)
- (4) 訪問・相談等地域生活支援系事業所 9カ所 (前年度7カ所)

2-6 一日当たり利用者数 808.8人 (前年度768.2人、前々年度757.6人)

- (1) 入所系事業所 409.4人 (前年度441.4人、前々年度438.3人)
- (2) 居住支援系事業所 87人 (前年度79人、前々年度69人)
- (3) 通所・日中活動系事業所 158.8人 (前年度147.5人、前々年度139.9人)
- (4) 訪問・相談等地域生活支援系事業所 153.6人 (前年度110.4人、前々年度136.0人)

2-7 職員数 545人 (前年度532人、前々年度518人)

- (1) 常勤 303人 (前年度300人、前々年度300人)
- (2) 非常勤 242人 (前年度232人、前々年度218人)

### 3. 23年度の実施事業（平成24年3月31日現在の定款第1条に基づく事業）

(1) 第1種社会福祉事業（下線部は平成24年1月19日改正）

- ア 重症心身障害児施設 聖母療育園の設置経営
- イ 障害者支援施設（聖マリア園、聖家族園、佐原聖家族園）の設置経営

(2) 第2種社会福祉事業（下線部は平成24年1月19日改正）

- ア 医療保護施設 海上療養所の設置経営
- イ 児童デイサービス事業（聖母通園センター、佐原聖家族園つどいの家）
- ウ 老人居宅介護等事業
- エ 老人デイサービス事業（デイサービスセンター・ローザ）
- オ 老人短期入所事業（聖マリア園）
- カ 障害福祉サービス事業
  - a 居宅介護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - b 重度訪問介護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - c 同行援護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - d 行動援護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - e 療養介護（聖母療育園）
  - f 生活介護（聖マリア園、聖家族作業所）
  - g 児童デイサービス（ふたば保育園）
  - h 短期入所（聖母療育園、聖マリア園、聖家族園、佐原聖家族園）
  - i 共同生活介護（ケアホーム旭、ケアホーム香取）
  - j 自立訓練（生活訓練）（ワークセンター）
  - k 就労移行支援（みんなの家）
  - l 就労継続支援B型（ワークセンター、みんなの家）
  - m 共同生活援助（グループホーム旭、グループホーム香取）
- キ 地域生活支援事業
  - a 相談支援事業（友の家、旭障害者支援センター、香取障害者支援センター）
  - b 移動支援事業（ロザリオ訪問介護事業所）
  - c 地域活動支援センターI型（友の家）
  - d 日中一時支援事業（聖母療育園、聖マリア園、聖家族園、聖家族作業所、佐原聖家族園、佐原聖家族園つどいの家）
  - e 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）（みんなの家、佐原聖家族園）
  - f 精神障害者地域移行支援事業（友の家）
- ク 中核地域生活支援センターの受託
- ケ 千葉県障害児等療育支援事業の受託
- コ 障害者雇用アドバイザー（企業支援員）事業（みんなの家）の受託

(3) 公益事業

- ア 居宅介護支援事業（ロザリオ高齢者支援センター）の設置経営
- イ 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）（みんなの家、佐原聖家族園）

## 4. 23年度重点目標実施報告

ロザリオの聖母会では、福祉・医療情勢や法人内の実情を踏まえて23年度に法人及び施設・事業所が取り組むべき事項を次のとおり重点目標として定め、中でも下線を付した項目は全施設・事業所の必須事項としてそれぞれの目標に落とし込むこととした。

また、設定した目標については、8月に見直しや進捗状況の確認を行うことを通じて現場や現実に立脚した着実な遂行を図るよう努めた。

### 4-1 福祉・医療情勢を注視しつつ施設・事業所の将来像を踏まえた運営基盤の確立に努めた。

- (1) 情勢を踏まえた施設・事業所の将来計画と経営内容の検討
- (2) 計画的な中間管理職の育成及び登用

### 4-2 福祉・医療に対する社会の要請に応えつつ利用者等の意向を尊重したサービス提供に努めた。

### 4-3 人事考課、研修等をとおして組織内コミュニケーションの向上及び職員の育成・意欲向上を図った。

### 4-4 法人の総合的な安全衛生対策の向上を図った。

## II 決算報告書

### 1. 貸借対照表（平成24年3月31日現在）

単位：円

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,790,134,194	1,571,211,178	218,923,016	流動負債	301,505,772	243,104,306	58,401,466
				固定負債	480,512,191	343,816,784	136,695,407
				負債の部合計	782,017,963	586,921,090	195,096,873
固定資産	4,705,447,912	4,344,972,956	360,474,956	純資産の部			
				基本金	1,624,923,496	1,624,923,496	0
				国庫補助金等特別積立金	1,115,846,322	1,069,327,540	46,518,782
				その他の積立金	708,509,630	798,109,630	△89,600,000
				次期繰越活動収支差額	2,264,284,695	1,836,902,378	427,382,317
				純資産の部合計	5,713,564,143	5,329,263,044	384,301,099
資産の部合計	6,495,582,106	5,916,184,134	579,397,972	負債および純資産の部合計	6,495,582,106	5,916,184,134	579,397,972

## 2. 資金収支計算書

(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

単位：円

勘定科目		予算	決算	差異
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業活動収入計	57,411,000	54,847,620	2,563,380
	就労支援事業活動支出計	54,094,000	50,350,268	3,743,732
	就労支援事業活動資金収支差額	3,317,000	4,497,352	△1,180,352
福祉事業活動 による収支	福祉事業活動収入計	3,616,308,127	3,612,534,865	3,773,262
	福祉事業活動支出計	3,366,594,341	3,297,129,939	69,464,402
	福祉事業活動資金収支差額	249,713,786	315,404,926	△65,691,140
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	243,301,400	243,617,400	△316,000
	施設整備等支出計	602,924,099	600,206,774	2,717,325
	施設整備等資金収支差額	△359,622,699	△356,589,374	△3,033,325
財務活動 による収支	財務活動収入計	368,505,000	368,505,000	0
	財務活動支出計	173,952,699	171,997,133	1,955,566
	財務活動資金収支差額	194,552,301	196,507,867	△1,955,566
予備費		111,272,288	0	111,272,288
当期資金収支差額		△23,311,900	159,820,771	△183,132,671
前期末支払資金残高		0	1,328,106,872	△1,328,106,872
当期末支払資金残高		△23,311,900	1,487,927,643	△1,511,239,543

## 3. 事業活動収支計算書

(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

単位：円

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	54,847,620	53,396,294	1,451,326
	就労支援事業活動支出計	53,755,467	51,611,339	2,144,128
	就労支援事業活動収支差額	1,092,153	1,784,955	△692,802
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	3,240,726,153	3,027,465,989	213,260,164
	福祉事業活動支出計	3,038,677,292	2,801,872,780	236,804,512
	福祉事業活動収支差額	202,048,861	225,593,209	△23,544,348
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	436,484,746	197,882,503	238,602,243
	事業活動外支出計	435,609,295	196,719,882	238,889,413
	事業活動外収支差額	875,451	1,162,621	△287,170
經常収支差額		204,016,465	228,540,785	△24,524,320
特別収支の部	特別収入計	316,525,692	32,105,477	284,420,215
	特別支出計	182,759,840	28,151,837	154,608,003
	特別収支差額	133,765,852	3,953,640	129,812,212
当期活動収支差額		337,782,317	232,494,425	105,287,892
繰越活動 収支差額の部	前期繰越活動収支差額	1,836,902,378	1,643,034,875	193,867,503
	当期末繰越活動収支差額	2,174,684,695	1,875,529,300	299,155,395
	基本金取崩額	0	0	0
	基本金繰入額	0	0	0
	その他の積立金取崩額	213,000,000	63,873,078	149,126,922
	その他の積立金積立額	123,400,000	102,500,000	20,900,000
次期繰越活動収支差額		2,264,284,695	1,836,902,378	427,382,317

### 4. 資金収支決算内訳表（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

(1)

単位：円

勘定科目		法人本部	海上療養所	友の家	聖母療育園	聖母通園センター	ふたば保育園	ロザリオ発達支援センター
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業活動収入計	244,809,083	1,084,331,654	28,965,051	534,504,153	44,592,359	22,392,021	25,494,274
	福祉事業活動支出計	256,609,209	951,459,311	27,999,061	511,568,076	38,479,206	19,012,336	16,746,631
	福祉事業活動資金収支差額	△11,800,126	132,872,343	965,990	22,936,077	6,113,153	3,379,685	8,747,643
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	0	58,192,000	0	40,378,000	2,066,400	0	840,000
	施設整備等支出計	1,041,229	305,152,025	423,881	42,852,188	5,118,120	120,540	483,105
	施設整備等資金収支差額	△1,041,229	△246,960,025	△423,881	△2,474,188	△3,051,720	△120,540	356,895
財務活動 による収支	財務活動収入計	100,000,000	225,000,000	0	0	505,000	0	0
	財務活動支出計	67,851,911	7,385,949	321,000	3,955,125	1,380,250	1,434,625	210,750
	財務活動資金収支差額	32,148,089	217,614,051	△321,000	△3,955,125	△875,250	△1,434,625	△210,750
予備費		0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額		19,306,734	103,526,369	221,109	16,506,764	2,186,183	1,824,520	8,893,788
前期末支払資金残高		321,948,613	254,315,611	14,943,958	185,158,520	3,591,736	8,744,358	0
当期末支払資金残高		341,255,347	357,841,980	15,165,067	201,665,284	5,777,919	10,568,878	8,893,788

(2)

単位：円

勘定科目		聖マリア園	聖家族園	みんなの家 東総就業(福祉)	聖家族作業所	ロザリオ訪問介護 事業所	デイサービス センター・ローザ	海匠ネットワーク
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業活動収入計	355,563,628	240,584,685	16,418,245	99,295,399	39,136,832	64,966,586	30,414,405
	福祉事業活動支出計	294,896,341	231,344,628	16,009,485	68,382,233	36,379,707	34,004,137	29,495,249
	福祉事業活動資金収支差額	60,667,287	9,240,057	408,760	30,913,166	2,757,125	30,962,449	919,156
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	26,477,000	42,407,000	0	4,160,000	30,000	0	45,000
	施設整備等支出計	85,471,425	28,221,375	0	53,202,900	337,299	24,941,115	0
	施設整備等資金収支差額	△58,994,425	14,185,625	0	△49,042,900	△307,299	△24,941,115	45,000
財務活動 による収支	財務活動収入計	3,000,000	7,500,000	0	30,000,000	0	0	0
	財務活動支出計	2,625,500	22,899,875	217,500	10,544,375	1,740,000	339,000	298,750
	財務活動資金収支差額	374,500	△15,399,875	△217,500	19,455,625	△1,740,000	△339,000	△298,750
予備費		0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額		2,047,362	8,025,807	191,260	1,325,891	709,826	5,682,334	665,406
前期末支払資金残高		102,956,547	77,483,162	1,361,341	40,642,436	27,292,022	0	3,470,088
当期末支払資金残高		105,003,909	85,508,969	1,552,601	41,968,327	28,001,848	5,682,334	4,135,494

## (3)

単位：円

勘定科目		旭障害者 支援センター	ケアホーム旭・ グループホーム旭	佐原聖家族園	つどいの家	ケアホーム香取・ グループホーム香取	香取障害者 支援センター
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業活動収入計	6,672,100	152,327,475	263,921,389	22,390,352	49,580,352	15,513,159
	福祉事業活動支出計	6,301,127	157,328,952	213,354,316	21,410,751	44,145,684	15,010,648
	福祉事業活動資金収支差額	370,973	△5,001,477	50,567,073	979,601	5,434,668	502,511
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	25,000	23,068,000	38,640,000	0	0	0
	施設整備等支出計	0	4,110,583	44,611,276	532,140	0	0
	施設整備等資金収支差額	25,000	18,957,417	△5,971,276	△532,140	0	0
財務活動 による収支	財務活動収入計	0	0	2,500,000	0	0	0
	財務活動支出計	73,000	3,377,523	26,542,250	64,250	4,000,000	145,500
	財務活動資金収支差額	△73,000	△3,377,523	△24,042,250	△64,250	△4,000,000	△145,500
予備費		0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額		322,973	10,578,417	20,553,547	383,211	1,434,668	357,011
前期末支払資金残高		1,423,711	61,331,984	86,191,840	△487,111	10,732,506	1,795,653
当期末支払資金残高		1,746,684	71,910,401	106,745,387	△103,900	12,167,174	2,152,664

## (4)

単位：円

勘定科目		香取就業センター (福祉)	ワークセンター	みんなの家	ロザリオ高齢者 支援センター	みんなの家 東総就業(公益)	香取就業センター (公益)
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業活動収入計	0	11,675,772	43,171,848	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	11,092,893	39,257,375	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額	0	582,879	3,914,473	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業活動収入計	8,218,175	77,905,835	140,032,628	21,057,917	10,801,108	12,646,000
	福祉事業活動支出計	7,866,915	77,895,047	130,125,849	18,049,497	10,226,047	12,451,544
	福祉事業活動資金収支差額	351,260	10,788	9,906,779	3,008,420	575,061	194,456
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	0	2,955,000	4,334,000	0	0	0
	施設整備等支出計	0	2,410,565	1,177,008	0	0	0
	施設整備等資金収支差額	0	544,435	3,156,992	0	0	0
財務活動 による収支	財務活動収入計	0	0	0	0	0	0
	財務活動支出計	201,500	356,750	14,602,750	1,429,000	0	0
	財務活動資金収支差額	△201,500	△356,750	△14,602,750	△1,429,000	0	0
予備費		0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額		149,760	781,352	2,375,494	1,579,420	575,061	194,456
前期末支払資金残高		0	22,876,438	47,581,970	3,279,237	894,300	0
当期末支払資金残高		149,760	23,657,790	49,957,464	4,858,657	1,469,361	194,456

### 5. 事業活動収支内訳表 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

(1)

単位：円

勘定科目		法人本部	海上療養所	友の家	聖母療育園	聖母通園センター	ふたば保育園	ロザリオ発達支援センター
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	112,067,417	976,460,676	29,082,575	546,839,721	45,110,723	22,647,032	15,635,604
	福祉事業活動支出計	111,402,381	939,888,096	29,446,883	524,476,134	42,869,269	18,583,496	16,716,182
	福祉事業活動収支差額	665,036	36,572,580	△364,308	22,363,587	2,241,454	4,063,536	△1,080,578
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	133,958,261	108,237,644	868,721	116,704	2,800,121	0	9,866,721
	事業活動外支出計	162,093,082	46,043,679	365,000	19,569,000	774,520	1,566,000	265,000
	事業活動外収支差額	△28,134,821	62,193,965	503,721	△19,452,296	2,025,601	△1,566,000	9,601,721
経常収支差額		△27,469,785	98,766,545	139,413	2,911,291	4,267,055	2,497,536	8,521,143
特別収支の部	特別収入計	0	58,192,000	0	40,378,000	2,066,400	0	840,000
	特別支出計	716,647	384,739	14,623	27,170,880	2,066,400	0	483,105
	特別収支差額	△716,647	57,807,261	△14,623	13,207,120	0	0	356,895
当期活動収支差額		△28,186,432	156,573,806	124,790	16,118,411	4,267,055	2,497,536	8,878,038
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額	757,153,688	248,224,907	12,116,351	220,395,491	△12,653,363	13,736,133	0
	当期末繰越活動収支差額	728,967,256	404,798,713	12,241,141	236,513,902	△8,386,308	16,233,669	8,878,038
	基本金取崩額	0	0	0	0	0	0	0
	基本金繰入額	0	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額	102,769,311	75,000,000	0	0	0	0	119,438
	その他の積立金積立額	58,500,000	0	0	0	0	1,300,000	0
次期繰越活動収支差額		773,236,567	479,798,713	12,241,141	236,513,902	△8,386,308	14,933,669	8,997,476

(2)

単位：円

勘定科目		聖マリア園	聖家族園	みんなの家 東総就業(福祉)	聖家族作業所	ロザリオ訪問介護 事業所	デイサービス センター・ローザ	海匠ネットワーク
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	355,254,403	254,898,137	13,939,471	86,609,595	37,200,029	25,839,786	26,119,800
	福祉事業活動支出計	308,197,687	238,562,880	14,571,985	69,971,184	34,162,827	36,605,130	29,530,822
	福祉事業活動収支差額	47,056,716	16,335,257	△632,514	16,638,411	3,037,202	△10,765,344	△3,411,022
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	13,551,152	406,010	2,478,774	15,000,000	2,069,303	39,126,800	4,294,605
	事業活動外支出計	11,572,000	12,127,868	1,655,000	3,372,000	2,696,000	324,000	365,000
	事業活動外収支差額	1,979,152	△11,721,858	823,774	11,628,000	△626,697	38,802,800	3,929,605
経常収支差額		49,035,868	4,613,399	191,260	28,266,411	2,410,505	28,037,456	518,583
特別収支の部	特別収入計	33,251,390	42,407,000	0	4,160,000	14,719	23,853,200	45,000
	特別支出計	19,779,155	19,592,000	0	0	0	0	0
	特別収支差額	13,472,235	22,815,000	0	4,160,000	14,719	23,853,200	45,000
当期活動収支差額		62,508,103	27,428,399	191,260	32,426,411	2,425,224	51,890,656	563,583
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額	84,255,990	62,918,752	1,361,341	40,673,504	27,597,793	0	3,682,753
	当期末繰越活動収支差額	146,764,093	90,347,151	1,552,601	73,099,915	30,023,017	51,890,656	4,246,336
	基本金取崩額	0	0	0	0	0	0	0
	基本金繰入額	0	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額	3,000,000	5,000,000	0	27,009,147	0	102,104	0
	その他の積立金積立額	0	13,000,000	0	10,000,000	1,500,000	0	0
次期繰越活動収支差額		149,764,093	82,347,151	1,552,601	90,109,062	28,523,017	51,992,760	4,246,336



## (3)

単位：円

勘定科目		旭障害者 支援センター	ケアホーム旭・ グループホーム旭	佐原聖家族園	つどいの家	ケアホーム香取・ グループホーム香取	香取障害者 支援センター
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	4,491,084	152,859,978	274,079,554	22,390,352	49,580,352	11,232,889
	福祉事業活動支出計	6,128,377	160,735,095	215,626,599	21,227,076	41,292,684	15,086,211
	福祉事業活動収支差額	△1,637,293	△7,875,117	58,452,955	1,163,276	8,287,668	△3,853,322
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	2,300,000	1,000,000	2,754,348	0	0	4,495,000
	事業活動外支出計	365,000	4,368,283	16,303,000	280,000	2,853,000	365,000
	事業活動外収支差額	1,935,000	△3,368,283	△13,548,652	△280,000	△2,853,000	4,130,000
経常収支差額		297,707	△11,243,400	44,904,303	883,276	5,434,668	276,678
特別収支の部	特別収入計	214,975	23,068,000	38,640,000	0	0	0
	特別支出計	189,038	19,617,797	18,635,836	0	0	0
	特別収支差額	25,937	3,450,203	20,004,164	0	0	0
当期活動収支差額		323,644	△7,793,197	64,908,467	883,276	5,434,668	276,678
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額	1,422,771	156,577,554	23,540,035	△30,003	10,732,506	2,028,043
	当期末繰越活動収支差額	1,746,415	148,784,357	88,448,502	853,273	16,167,174	2,304,721
	基本金取崩額	0	0	0	0	0	0
	基本金繰入額	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金積立額	0	0	20,000,000	0	4,000,000	0
	次期繰越活動収支差額	1,746,415	148,784,357	68,448,502	853,273	12,167,174	2,304,721

## (4)

単位：円

勘定科目		香取就業センター (福祉)	ワークセンター	みんなの家	ロザリオ高齢者 支援センター	みんなの家 東総就業(公益)	香取就業センター (公益)
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	11,675,772	43,171,848	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	11,236,537	42,518,930	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額	0	439,235	652,918	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	7,914,175	37,898,893	91,102,184	18,910,615	10,723,108	11,838,000
	福祉事業活動支出計	7,413,415	37,756,419	77,702,566	18,046,303	10,226,047	12,451,544
	福祉事業活動収支差額	500,760	142,474	13,399,618	864,312	497,061	△613,544
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	304,000	40,166,941	49,656,339	2,147,302	78,000	808,000
	事業活動外支出計	655,000	41,701,941	54,586,970	765,000	0	0
	事業活動外収支差額	△351,000	△1,535,000	△4,930,631	1,382,302	78,000	808,000
経常収支差額		149,760	△953,291	9,121,905	2,246,614	575,061	194,456
特別収支の部	特別収入計	0	29,546,478	19,848,530	0	0	0
	特別支出計	0	27,871,478	15,610,552	0	0	0
	特別収支差額	0	1,675,000	4,237,978	0	0	0
当期活動収支差額		149,760	721,709	13,359,883	2,246,614	575,061	194,456
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額	0	39,104,266	63,096,500	△1,255,426	894,300	0
	当期末繰越活動収支差額	149,760	39,825,975	76,456,383	991,188	1,469,361	194,456
	基本金取崩額	0	0	0	0	0	0
	基本金繰入額	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金積立額	0	0	13,900,000	1,200,000	0	0
	次期繰越活動収支差額	149,760	39,825,975	62,556,383	△208,812	1,469,361	194,456

### III 組織図 (平成24年3月31日現在)

